



# コラム 家計簿におきかえてみると…

川崎市の一般会計を家庭の収支におきかえて眺めてみましょう。  
限られたお金を活かし、バランスのとれた使い道を考えるという点では市の予算と家計は似ています。  
スケールを身近なサイズに変えて「川崎市の財政」を実感してみましょう。

財政を  
家計の項目に  
合わせ、こんな  
家計簿をつくって  
みました。

例えば年収を500万円とすると…

## 収入月額

月収

お父さんとお母さんの給料  
市税等の自主財源

416,700円

役所からの助成金・奨学金  
国・県支出金など

173,400円

各種ローンの借入金  
市債発行

60,300円

収入計 650,400円

## 支出月額

義務的経費

食費 人件費 96,900円  
医療費など 補助費 171,000円  
ローンの返済 公債費 74,500円

車の購入・自宅の増改築・修繕費  
投資的経費など 107,000円

子どもへの仕送り  
補助費等・貸付金・繰出金など

131,800円

光熱費・被服費  
物件費 69,200円

支出計 650,400円



食費や医療費など  
「義務的経費」の  
部分は大きな割合を  
占めていることがわかります。